



地元岩瀬で大きな花火を打ち上げたい。

花火にロマンを求めて岩瀬村でその夢を引き継ごうとしている親子がいます。なぜこの岩瀬なのかという問いに對して、いうまでもなく「この土地がすきだから」という単純な答えかもしれません。自分が生まれ育ったこの地にこだわるのは、あくまでも素朴で何気ない自然の風景が花火づくりの後押しをしてくれているに違いありません。この日、息子さんが夏休みを利用して仕事を手伝っている光景を目にしました。まだ後を継ぐかどうか決まっていないというものの、二人の間にはもう夢が重なりあっているようにも感じられました。地元岩瀬で歓声とため息を聞きながら、その感動を共有する日はそう遠くはないはず。



子供が父親の背中を追い、
そして親と子の絆が共通の夢を追いかける。
ここ岩瀬村には親子代々にわたって
夢を追い続ける人達がいます。

